



おさかな瓦版

No. 38

2010.12

さんりく だい かい
シリーズ：三陸のさかなたち 第5回

エゾアワビ



ふーちゃんのトピックス

かんぜんようしょく う そだ
完全養殖で生まれたウナギたち すくすく育っています



ふつくんのなんでもコーナー

かい
貝にオスとメスはあるのですか？

エゾアワビ

～おいしくておめでたいヤツ～

日本には約10種類のアワビがいます。よく食べられているのはクロアワビ、エゾアワビ、マダカアワビ、メガイアワビです。

アワビはふつう温かい海に住んでいます。この4つのうち、エゾアワビだけは北海道から日本海の北側・太平洋三陸沿岸にかけての冷たい海に住んでいます(📷)



📷 1. 天然のエゾアワビ(約10センチ)

1)。

アワビはとても高級な貝で、大きいものは一個2000円くらいしま



📷 2. エゾアワビのお刺身

す。食感は歯ごたえがあり、お刺身や酒蒸しにして食べます(📷 2)。また、干したものは中華料理にも使われます。

貝殻は平たい形をしています。実はサザエと同じ巻貝の仲間です。貝の模様をよく見てみると巻貝と同じような渦巻きになっています(📷 3)。また、貝殻には、呼吸孔と呼ばれる穴が開いていて、呼吸をするため海水を出し入れしたり、フンを出したり、卵や精子を出したりします。

エゾアワビは、夏から秋にかけて台風な



あんじいの
ワンポイント
アドバイス

あんじい：ありとあらゆることを知っているナゾのさかな仙人です

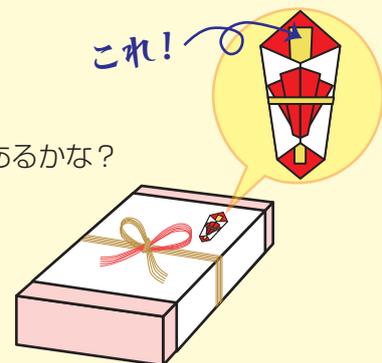
アワビは縁起のよいもの

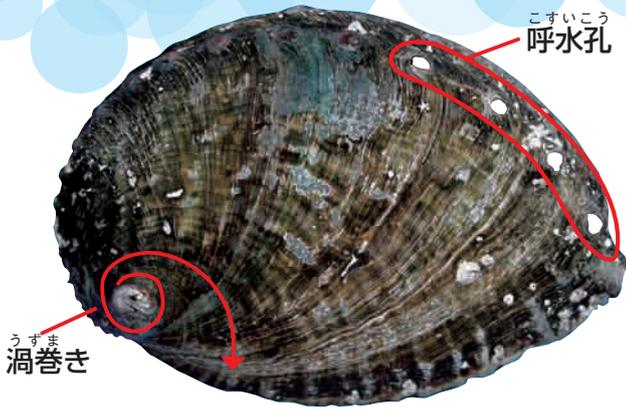
アワビは、古くから縁起がよいものとされていたのじゃ。

おくりものに「のし」というものがついているのは見たことがあるかな？

紅白の紙に包まれた黄色いものは、昔はアワビの肉を乾燥して薄く削った「のしアワビ」だったのじゃ。今は印刷された絵が多いが、これはその名残なのじゃよ。

これ!





3. エゾアワビの貝から
(赤い線が呼吸孔と渦巻き模様)

ど波が激しい時に産卵する不思議な習性があります (📷 チェック)。受精した卵は海の中をただよい、ふ化します。ふ化して4日くらいたつと、岩についているピンク色をした無節サンゴモという海藻に好んでくっつきます。生まれてまもない子どもはとても小さく、大きさは約0.4ミリです。9センチのおとなになるまで4~5年かかります。子どものころは、珪藻という、無節サンゴモの表面につく小さな藻を食べますが、おとなになるとコンブやワカメなどの海藻を食べるようになります。

エゾアワビは、1970年には全国で約3000トンとれていましたが、今では約

1000トンに減ってしまいました。そこで、厳しい海でも生きていけるよう、約3センチの大きさになるまで人の手で育てて、放流するようになりました。毎年、全国で約1500万個を放流していますが、まだまだ昔のようにたくさんとれるまでは増えていません。回復しない理由として、環境の変化やとりすぎなどが考えられています。

水産総合研究センターでは、エゾアワビを増やしていつまでも食べられるようにするため、多くの子どもが生まれ、より多く生き残るのに適した条件などを調べています (📷 4)。



4. 海にもぐって調査



産卵から子どもまで



産卵
呼吸孔から吹き出します



ふ化して
ただよう...



無節サンゴモにくっつく!



くっついた子ども
(約0.4ミリ)



ふーちゃんのトピックス

Fuchan's Topics

完全養殖で生まれたウナギたち すくすく育っています



シラスウナギ (約5センチ)

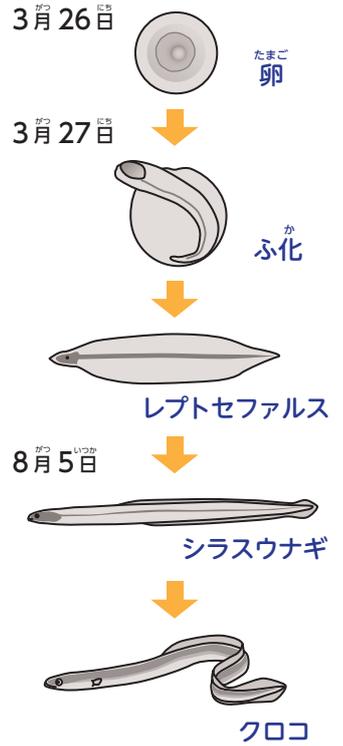


クロコ (約6センチ)

今年3月に完全養殖に成功したウナギ。生まれてきた赤ちゃんは今、どのくらいまで育っているのでしょうか？

ふ化から131日目の8月5日に、最初の1尾がシラスウナギになりました。今ではクロコまで成長したのもいます。このまますくすく育ってほしいですね。

～卵からクロコまで～



東京都の小学2年生からの質問です

Q 貝にオスとメスはあるのですか？

A オスとメスに分かれている貝と、1つの体でオスとメスの両方の働きをもっている貝がいるよ。

例えば、アワビはオスとメスに分かれているんだ。ひっくり返して足からはみ出た部分が緑色をしているアワビはメス、白いアワビはオスなんだ。

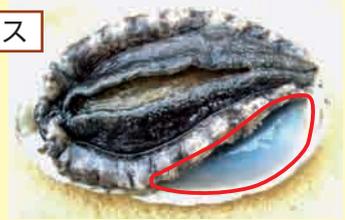
オスとメスが一緒の貝には、トリガイやカタツムリなどがいるよ。図鑑で調べてみてね。

ふっくんの
なんでもコーナー

どんどん質問してね。
ぼくが答えるよ！



メス



オス



エゾアワビ



ふーちゃん



ふっくん

せんじん しゅぎょう けんきゅういん
あんじい仙人のもとで修行している研究員です

おさかな瓦版 No.38 (2010年12月発行)

編集・発行：独立行政法人 水産総合研究センター

質問の送り先・お問い合わせ先：広報室

〒220-6115 神奈川県横浜市西区みなとみらい2-3-3

クイーンズタワーB 15階

TEL. 045-227-2600 FAX. 045-227-2702

ホームページ <http://www.fra.affrc.go.jp/>

さかなやエビ、カニなどの水産動物や海藻のことでわからないことがあったら、広報室までハガキを送ってね。＜聞きたいことの内容＞、＜学年＞、＜住所＞、＜名前＞を忘れずに書いてね。ふっくんが「なんでもコーナー」でお答えします。

表紙写真



いわば 若場に張り付く天然のエゾアワビ